

燃ゆる感動がごしま国体

特別国民体育大会

熱い鼓動 風は南から

2023

NO.11

試合結果速報

バレーボール

種別	成年男子	会場	いちき串木野市総合体育館															
令和 5 年 10 月 11 日		水曜日 第 4 日																
特 コート		第 2 試合																
<input type="checkbox"/> 1回戦 <input type="checkbox"/> 2回戦 <input type="checkbox"/> 準々決勝 <input type="checkbox"/> 5・7位戦 <input type="checkbox"/> 準決勝 <input type="checkbox"/> 3・4位戦 <input checked="" type="checkbox"/> 決勝																		
(該当する種別にレ印)																		
◎試合結果																		
勝利チーム 広島県 3 <small>都道府県名</small>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>24</td><td>—</td><td>26</td></tr> <tr><td>25</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>25</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>21</td><td>—</td><td>25</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>11</td></tr> </table>	24	—	26	25	—	18	25	—	11	21	—	25	15	—	11	2 三重県 <small>都道府県名</small>	
24	—	26																
25	—	18																
25	—	11																
21	—	25																
15	—	11																
設定時刻(プロ記載時刻) 11 時 30 分	開始時刻 12 時 10 分	終了時刻 14 時 08 分																
【審判員】																		
主審: <u>原 啓之</u>		副審: <u>木内 誠二</u>																
記録員: <u>黒島 秀一郎</u>		A・S: <u>木場 毅</u> A・S: _____																
【次の試合】 (記入無き場合は上記試合が最終)																		
設定時刻(プロ記載時刻) 時 分	開始予定時刻 時 分	組合せ VS																

No.	送信時間	送信者	競技(部)委員長	記録報道主任	記録者
	13:38	折田	島永	永山	永山

受信時間	記録本部

燃ゆる感動 かがしま国体

特別国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2023 戦評用紙

審判副委員長
山口 昭彦

No.15

種別 成年男子 会場 いちき串木野市総合体育館

令和 5 年 10 月 11 日 水曜日 第 4 日目

特設コート 第 2 試合

1回戦 2回戦 準々決勝 5・7位戦 準決勝 3・4位戦 決勝

◎試合結果

(該当する種別にレ印)

勝利チーム 広島県 3 都道府県名	24	-	26	2 三重県 都道府県名
	25	-	18	
	25	-	11	
	21	-	25	
	15	-	11	

【審判員】

主審: 原 啓之 副審: 木内 誠二

記録員: 黒鳥 秀一郎 A・S: 木場 毅 A・S: _____

【戦評】

記載者: 山田 裕貴

1セット目は広島No2阿部選手のサービスエースや多彩なトワークで攻撃を展開。一方で三重は、No10春藤選手を軸とした攻撃を繰り広げた。終盤まで接戦が続き、最後は三重No9森垣選手のブロックポイントにて26対24で先取した。2セット目は1セット目同様に接戦となったが、広島No3熊倉選手のスパイクを皮切りに目録ポイントを決めた広島が26対18でセットを奪い返した。3セット目は勢いに乗った広島の、No11井上選手、No12西村選手の両リベロプレーヤーが三重の強力なスパイクを拾い、2セット目の途中から出場したキャプテンNo1井上選手のスパイクやブロックでポイントを取ね26対11でセットを取り、優勝に王手をかけた。4セット目、勝ちを意識した広島に序盤からスパイクミスやサーブミスが続いた。その隙に三重No6崎海選手の強烈なスパイクやNo8安田選手の2連続サービスエースなどの活躍により26対21で取りタイに持ち込んだ。用5セット、三重は、No11三好選手のブロックやNo12熊倉選手のスパイクで応戦したがNo3熊倉選手のスパイクやNo6坂下選手のサーブで順調に得点を重ねた広島が、18対11で勝利した。フルセットの激戦を演じた広島は、平成28年「2.016いわて国体」以来の優勝を挙げた。